

「生物を空想して表す」(高校生の美術2:32～33ページ)

人は昔から、夢や想像からイメージを広げ、架空の生物を考え出してきました。自然現象の原因を精霊や鬼などに求めたり、願いや恐れなど形のない思いを妖怪として具現化したりしています。動物や器物を擬人化したり組み合わせたりするなど表現方法を工夫し、生物が持つ、強い、かわいい、というようなイメージを生かし、生物を空想して表現しましょう。



予言獣(よげんじゅう)とは

豊作や疫病の流行など未来のことを予言したあと、除災の方法を告げて消え去った異形のモノをいう。広い範囲で妖怪の範疇に含まれる。江戸時代後期から摺物や錦絵などに登場し庶民の関心呼んだ。

課題

下の「アマビエ」を参考に①、②どちらかの方法で「予言獣」をテーマに想像して描いてみましょう。

①自分のオリジナルの「予言獣」を描く。

②「アマビエ」を自分なりにアレンジして描く。

(制作用紙は次のページ)

制作のヒント:発想などは1年生で制作したプリント課題「マンガのキャラクターデザイン」の要領です!

★提出期限:学校再開時最初の授業

予言獣の例「アマビエ」



「アマビエ」について(出典:『肥後国海中の怪』(京都大学附属図書館所蔵))

「我こそは、アマビエと申す者なり。当年より6年の間は、諸国で豊作が続く。だが疫病もはやる。だから私の姿を絵にして描き写し、人々に早々に見せよ」

江戸時代、弘化3年(1846年)、肥後の国(現在の熊本県)で、ある日の夜、海中に光る生物が現れた。役人が赴いて様子をうかがう。すると、その半人半魚の生き物は、こう言って、海の中へ去っていった。

特徴:頭からいきなり3本の足が生えた(胴体のない)形状で、人間のような耳をし、目はまるく、口が突出している。

京都大学附属図書館: <https://rmda.kulib.kyoto-u.ac.jp/item/rb00000122>

2年()組()番 氏名()

下の22cm(たて)×17cm(ヨコ)の四角の枠内に描く。

この用紙を印刷できない場合は、A4サイズの白い紙(ルーズリーフ等可)同じ大きさの枠内に制作してください。

★提出期限：学校再開時最初の授業

※どちらかに○印を記入

() ①自分のオリジナルの「予言獣」

() ②「アマビエ」を自分なりのアレンジ

工夫した所や見て欲しい所などを文章で記入する。(①の場合は説明も加える)

